

一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会
募金趣意書

一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会

代表理事 前川 聡 (滋賀医科大学内科学講座教授)

趣意書

近年、生活習慣の変化、人口構成の高齢化等、私たちを取り巻く環境は大きく変化を遂げており、医療においても新たな対応が求められています。糖尿病の有病率は世界的にみても増加の一途をたどり、特に肥満、高齢2型糖尿病が増加しています。これら糖尿病に起因する細小血管症は、失明、神経障害、腎症の発症原因であり、更に大血管症は心筋梗塞や脳梗塞などの重篤な合併症の重要な発症原因となっていて、その対策が急務となっております。更に、肥満、高齢糖尿病患者では、認知症、がん合併の問題も今後臨床上の大きな検討課題といえます。また、糖尿病治療に費やされる医療費の増大は、今や重大な社会的・財政的問題になりつつあります。

このような背景のもと、本邦の糖尿病の日常診療における管理状態を把握し、より有効な合併症の予防や治療法の確立を通じて糖尿病患者のQOLの向上に貢献することを目的とし、2001年2月11日に糖尿病専門医によって構成された「糖尿病データマネジメント研究会」を設立いたしました。

本会では、糖尿病データ管理ソフトウェア (CoDiC) を用いた診療データの収集および収集したデータの評価と解析 (アウトカムリサーチ) をすることにより、合併症の予防に主眼を置いた前向き観察研究 (2次~3次予防) 及び、その他本会の目的達成に必要な事業を実施することにより、糖尿病医療の質の向上に寄与することを願っております。その際、個別の研究を実施するに際しては、研究計画及び実施方法等の倫理的妥当性について、独自に組織した倫理委員会による審査を受け、対象患者さんに対する倫理的配慮、利益相反を明確にして研究を遂行しています。

実際、過去10余年にわたり会員施設から診療データを集め、主として治療法別の血糖コントロールについて解析を行い、その結果を「CoDiCを使用した糖尿病臨床データの解析」として日本糖尿病学会年次学術集会において発表してまいりました。海外ではDCCT、UKPDSなど糖尿病の診療情報を用いた大規模研究がなされています。観察研究ではありますが、日本におけるこうした大規模な追跡研究の実施はめずらしく、海外からも注目を集めております。また、本会は平成18年度より国内外の医学専門誌にて多くの論文(現在JDDM42まで採択されています)を発表しており、近年JDDM研究会活動の成果が認知され、多くの著書に引用されています。

さて、我が国における臨床研究は新しい時代に入り、臨床研究ガイドラインとして「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が公表され、それに準拠した臨床研究を進める必要があります。特に研究の信頼性を確保するために、利益相反の管理のほか研究に関わる資料及び情報や解析データを一定期間保管することが、義務づけられました。また介入研究では、研究過程が研究計画に沿って正しく遂行されていることを第三者によってモニタリングをすることが求められています。更に必要に応じて監査を行うことが義務付けられています。

このような状況下で、臨床研究に必要な経費が大幅に増加することが予想され、会員の年会費を値上げし、協賛会員数の増加をお願い致しました。しかし、JDDM 基礎データは現在約 220,000 人の糖尿病患者コホートに達し、その情報（肥満度、年齢、治療薬情報、血糖・脂質・血圧などの管理状態、合併症の有病率等）を、正確に入力し、そのメガデータの入力を検証し、適切な方法で解析するために必要な経費は増加し、添付させていただいた予算案からみて、年間約 1,000 万円程度の研究経費を確保する必要があります。

本会では、今後も積極的に研究を推進してまいりたいと存じますが、研究財源などの継続的な研究費の獲得は以前にもまして困難になっています。つきましては、今後とも研究の遂行に邁進できるよう、援助のご寄付を賜りたくお願い申し上げます。

何卒、格別のご理解とご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会
代表理事 前川聡



事務局 〒305-0812 茨城県つくば市東平塚 715-1

川井クリニック内 一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会事務局

平成29年度 一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会

活動概要

●会合

研究会 2回、理事会 4回、プロトコール委員会 1回、倫理委員会 1回

●共同研究

- 1) 前向き研究
 - 糖尿病患者における動脈硬化性疾患の罹患率・死亡率に関する多施設共同研究
 - 糖尿病患者における動脈硬化性疾患・腎疾患の進展率・死亡率に関する多施設共同研究
 - ほか
- 2) 後向き研究
 - 2型糖尿病患者における薬物療法に関する実態調査(XIII)
一経口血糖降下薬の治療効果と臨床像との関連一
 - 地域別にみた高齢・非高齢糖尿病患者臨床像に関する検討
 - ほか

●役員・会員

代表理事 前川聡 (滋賀医科大学)

副代表理事 大石まり子 (大石内科クリニック) 杉本英克 (杉本クリニック)

山崎勝也 (川井クリニック) 横山宏樹 (自由が丘横山内科クリニック)

理事 岡田朗 (岡田内科クリニック) 曾根博仁 (新潟大学)

高井昌彦 (高井内科クリニック) 高村宏 (高村内科クリニック)

監事 石垣泰 (岩手医科大学) 遅野井健 (那珂記念クリニック)

調進一郎 (HECサイエンスクリニック)

顧問

奥口文宣 (奥口内科クリニック) 柏木厚典 (草津総合病院)

川井紘一 (川井クリニック) 金塚東 (千葉中央メディカルセンター)

栗原義夫 (栗原内科クリニック) 小林正 (高岡ふしき病院)

佐藤譲 (東北医科薬科大学若林病院) 平尾紘一 (HECサイエンスクリニック)

会員数 124名

●平成29年度 収支計画

<収入の部>

項目	金額	備考
繰越金	7,828,000 円	
年会費	2,550,000 円	3万円×70名、1万円×45名
賛助会費	12,000,000 円	賛助会員 24社×500,000円
助成金	2,500,000 円	
共同研究費	4,000,000 円	
寄付金	10,000,000 円	
データ転送料	500,000 円	
バナー広告	720,000 円	
その他収入	610,000 円	入会金、前年度会費、雑収入
収入の合計	40,708,000 円	

<支出の部>

項目	金額	備考
データ解析費用	13,000,000 円	共同研究データ解析費用
研究関連資材作成費用	1,500,000 円	共同研究報告書、他
CoDiC 保守点検費	5,778,000 円	
CoDiC システム開発・改修費	10,000,000 円	
会議費用	2,500,000 円	合計年 8 回開催
研究会運営諸経費	7,930,000 円	事務局委託費用、通信費等
支出の合計	40,708,000 円	

寄付金募集要項

1) 寄付の名称

一般社団法人糖尿病データマネジメント研究会

2) 寄付金目標額

10,000,000円

3) 寄付金の使途

糖尿病の臨床研究推進

4) 寄付金額

1) 企業・団体・医療法人など 1口 50万円

*企業、団体におかれましては2口以上のご検討をお願い致します。なお、希望される場合は、企業、団体、施設名を当会ホームページにて公開させていただきます。

2) 個人 1口 20万円

*複数口でのご検討をお願い致します。なお、希望される方には当会ホームページへお名前を公開させていただきます。

*ご寄付は返還いたしませんことをご承知ください。

*当該寄付により、ご寄付いただいた個人・企業・団体等及びそれらの共同研究者等が優先的に助成金を利用できるなどの利益を受けることはありません。

3) 寄付金申込および払込方法

別紙の寄付申込書を一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会事務局代行宛に電子メール、FAX、郵送等でお送りください。振り込みは以下の口座へお振込みをお願い致します。

振込先：三菱東京UFJ銀行 春日町支店 普通 No.1677305

名義：一般社団法人 糖尿病データマネジメント研究会 代表理事 前川聡

お問合せ先

糖尿病データマネジメント研究会事務局代行

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-8-11 第七東洋海事ビル

株式会社創新社内

TEL:03-5521-2881 FAX:03-5521-2883